

## 2024年度 大学院入学試験（問題、出題意図、解答例） 地理学専攻

大問1 次の（1）～（4）のうち、1題を選択して解答しなさい。

### 【出題意図】

人文地理学の広い視野にたち、大学院で研究を進めていくうえで、諸地域への関心と分析に要する知識ならびに考え方を問うている。

（1）

### 【問題文】

近世京都の街路・街区の特徴に着目しながら近世城下町の都市構造について説明しなさい。

### 【解答例】

古代、条坊制に基づいた平安京の都市形態は、中世の戦乱期によって荒廃が進んだ。織田信長の上洛を契機に、豊臣秀吉による都市の再編が行われた。秀吉は都市の残存部を土居（「御土居」）で囲み、聚楽第の建設とともに、街路と街区の整備をおこなった。

とくに、南北方向の道路について既存の道路と道路に間にあらたに道路を敷設することによって、長方形となる街区をつくりあげた。条坊制に基づいて設計されていた正方形の街区を一変させた。この長方形の街区は、地理学の歴史都市の観点から、「短冊型」と称されてきた。このようにして計画設計され、街路で囲まれた「短冊型」の街区は、日本各地で建設された近世城下町（町人地）にも採用されていったと考えられている。間口が広く奥行き長い屋敷地が並ぶ城下町の景観は、このような街路と街区の特徴に起因しているといえる。

（2）

### 【問題文】

名所図会に関する地理学的な分析方法や研究成果について説明しなさい。

### 【解答例】

「名所図会」の刊行は、安永期の「都名所図会」にはじまる。これまで「名所記」とされた叙述的な刊行物とは異なり、事物の経緯などを含み客観的な記述になっていることのほか、地理的な説明をねらいとすると挿絵が多く含まれている点が特徴である。地域的な特徴が記されている点では、地理学にとって重要な研究資料となりうる。名所となる寺院や自然景観などの挿絵のなかには誇張表現もあることから、地理学が重要とする景観分析の資料としては慎重に利用する必要がある。「都名所図会」以降、大和、摂津、河内のような国ごとの編集のほか、東海道など道中をまとめたものまで刊行されていった。歴史地理学において、とくに挿絵を中心に分析進められており、構図から景観や風景に関する研究成果が発表されている。

（3）

### 【問題文】

重要文化的景観について概説したのち、事例をひとつ取り上げて地理学的な視点からその価値について批評しなさい。

### 【解答例】

重要文化的景観は文化財保護法に基づいた文化財のひとつである。地理学においては、これは今に残る景観にとどまらず、その景観が作りだされる過程や背景、つまり、生業や生活

文化、地域の風土の理解が求められる。

(事例は省略)

※解答のポイント

1つの事例でもよいし、複数の事例を比較してもよい。

取り上げた事例の生業および生活文化、地域の特色が説明できていること。

保存とその問題点。

(4)

【問題文】

過去の自然災害を知るための史資料を挙げ、その分析や研究成果の事例を紹介しなさい。

【解答例】

「島原大変肥後迷惑」は、18世紀、長崎県の島原で発生した雲仙岳の火山性地震と山体崩壊、島原や対岸の肥後国に津波が襲ったことによる有明海沿岸の災害である。肥後国の村々では津波の影響を受けた。災害記念碑も多く分布することから、文書史料記録と現地の碑を組み合わせることで災害の範囲を知ることができる。絵図に注目した研究もみられる。歴史学、地理学、地学、土木学など各研究分野から当時の被害状況を分析した成果が残されてきた。今後起こりうる津波に対して防災という観点からあらためて注目されている。

## 大問 2

問 1 第四紀、更新世、完新世、洪積世、沖積世、後氷期の関係を説明せよ。

### 【解答例】

第四紀は約 260 万年前から現代までのもっとも新しい地質時代である。寒冷な氷期と比較的温暖な間氷期が数万～10 万年の周期でおとずれ、氷期には高緯度地帯や高山地域の氷河が拡大し、間氷期にはそれらが消滅あるいは縮小した。このように、この時代は氷河の消長で特徴づけられるために氷河時代と称されることもある。また、この時代は人類が出現し進化した時代であるために、人類紀と呼ばれることもあり、人類の出現をもってこの時代の始まりとされたこともあった。ただし、古人類学や地質学の進展にしたがって、この時代の開始年代は変化してきた。

第四紀は更新世と完新世に区分される。前者は第四紀の始まりである約 260 万年前から約 1.2 万年前まで、後者は約 1.2 万年前から現在までである。したがって、第四紀のほとんどは更新世にあたる。更新世には上述したように氷期と間氷期が繰り返され、氷期における氷河拡大期には海面が低下した。そのために陸続きになった海峡もあり、そこはアフリカで生まれた人類が世界に拡散するルートになったと考えられている。

最後の氷期が終了した約 1.2 万年前をもって更新世の終わりとされている。その後、温暖化が進み、現在とほぼ同様の環境になった期間が完新世である。洪積世と沖積世はそれぞれ更新世と完新世の古い用語であるが、洪積台地や沖積平野のように古い用語がいまだ慣用的に用いられる場合もある。後氷期は最終氷期が終了した約 1.2 万年前から現在までの期間、すなわち完新世と同義である。

第四紀は現在の自然環境の多くがこの時代に由来すること、また上述したように人類が出現・進化・拡散した時代であり、地理学や歴史学にとっても重要である。

### 【出題意図】

もっとも新しい地質時代である第四紀とその時代区分に関する基本的知識を問う。

## 問2 ケッペンの気候区分の特徴、長所、短所を述べよ。

### 【解答例】

気候は水収支や風系や気団などの様々な観点から区分されている。そのなかで、この気候区分はドイツの気候学者ケッペンが植生に着目して考案したものであり、植物の育成にとって重要な要素のうち、水と熱に関係する気温と降水量を指標としている。発案後に彼自身および弟子らが改良を重ねたために多くのバージョンがある。

ケッペンの気候区分は、まず樹木気候と無樹木気候に大別し、前者を熱帯気候(A)、温帯気候(C)、亜寒帯気候(D)に、後者を乾燥気候(B)と寒帯気候(E)に分けており、各気候帯は赤道から両極に向けてA、B、C、D、Eの順に分布する。さらに各気候帯を気温と降水量の性格によって細分している。なお、改良型には高山気候(H)も存在する。

それぞれの気候区を決定するための気温と降水量が容易に得られる点、実際の気候を感覚的に把握できる点、わかりやすい記号の組み合わせによって簡単に表現できる点などが長所である。また、同じ緯度帯にあっても大陸東岸部、内陸部、西岸部では気候に大きな違いがあるが、それらを表現することができる点なども長所として挙げられる。

一方、この気候区分は植生分布に合うように作成されたものであり、経験的・非成因的であるとの指摘がある。例えば、単位の異なる気温と降水量を比較しており、このことは科学的な観点からは大きな問題である。また、現在の気候データと合致しないケースがあるとの指摘もある。たとえば、温暖化等によって気候区が移動しても、それが普及している気候区分図には反映されない。このような短所もあるが、この気候区分は簡単明瞭で理解しやすいために、現在最も広く利用されている。

### 【出題意図】

もっとも頻繁に用いられる気候区分である「ケッペンの気候区分」を長所短所をも含めて正しく理解しているかを問う。

### 問3 日本に自然災害が多い理由を論述せよ。

#### 【解答例】

日本列島は新期造山帯に位置する。新期造山帯はプレート境界部にあたり、そこではプレートの移動にともなう複雑な力が地殻に加わることで、地震・火山活動・地殻変動が起こり、これらに起因する自然災害が頻発する。特に日本は四つのプレートがひしめき合う場所にあるために、活発な造山帯となっている。さらに、プレート境界そのものである海溝が沿岸近くに位置するために、海溝型地震に伴う津波災害にも見舞われる。

新期造山帯においては山がちな土地になる。そのために急斜面が多く、そこが地震や大雨の際に崩壊して、地滑りや崖崩れや土石流が発生する。また、河川は急こう配となり、大雨時に一気に増水し水害をもたらす。また、上記の土石流が山間部の急流河川に集中し、谷の出口などに大きな被害をもたらす。

同じ緯度であっても大陸東岸部（海洋の西部）と西岸部（海洋の東部）では気候が異なる。これは、気圧配置や惑星風（貿易風や偏西風）の吹き方とそれらに關係する海流の流れ方などによるが、東岸部は降水量が多く、熱帯低気圧の影響を受けやすいために、西岸部に比べて風水害が多い。特に日本は、最大の海洋である太平洋と、最大の大陸であるユーラシア大陸の間に位置するために、典型的な東岸気候となり、風水害に悩まされる。

日本は冬季に発達したシベリア高気圧から吹き出る北西季節風の影響を強く受ける。この北西季節風は日本海上を渡る間に大量の水分を吸収し、日本列島の日本海側、特に北部に豪雪をもたらす。日本は世界有数の豪雪地帯であり、同じ緯度帯では珍しく雪害の多い国である。このようにシベリアとの位置関係や日本海の存在もまた日本に自然災害が多い理由になる。

日本は前述したように山がちな国であるために、平地に恵まれない。一方で多くの人口を抱えるために、宅地や生産活動の場を山地、傾斜地、火山地域、低湿地などの災害脆弱地にまで広げている。さらに、直下型地震の被害が大きくなる断層近辺、津波被害の危険性の高いリアス海岸まで土地利用が及んでいる。このように、受け手側の状況もまた日本に自然災害が多い理由となっている。

#### 【出題意図】

日本で発生する主な自然災害を把握しているか、またそれらの自然災害の発生理由を日本の位置や自然環境や受け手側の状況などとの関連で総合的に理解しているかを問う。

**【問題】**

大問3 中国および日本の地誌について、次のABCのすべてに解答せよ。

**【出題意図】**

系統地理学とともに地理学を構成する地誌学について、地誌の視点が理解できているか、地域性を明らかにできるかを知るために出題した。

A 中国において下記の1)～3)の項目における地域的特徴を、それぞれの項目ごとに解答せよ。

1) 自然環境（地形・気候）

**【解答例】**

中国の地形は西側が標高が高く東側が標高が低いという、いわゆる西高東低の特徴を有している。標高の程度で地形をみると、3段階の地形として説明できる。また、平原は東部に集中しているため、人口密集地域になっている。気候については、南部の熱帯から北緯部の亜寒帯、内陸部の乾燥帯など多様性に富む。冬は大陸側から海側に、夏は海側から大陸側に季節風が吹くため、沿岸部で降水量が多くなり、内陸に行くにつれ降水量が少なくなる。その結果、耕地面積において全体の約6割を占め、人口では全体の約45%が集中している北部において、水資源が中国全体の4分の1しかなく慢性的な水不足問題を抱えている。それを解決するために、南水北調計画が実施された。

2) 人口・民族構成

**【解答例】**

人口分布の地域的特徴をみると、人口分布の偏りが目立つ。すなわち、人口境界線を境に東部と西部の人口を比べると、面積で約4割を占める東部に人口の約95%が集中している。民族においては漢民族が9割以上を占め、55ある少数民族は全体の1割に満たない。週数民族は辺境地帯や標高の高い山地や高原に分布しているが、少数民族居住地区はその大半が資源豊かで、国家統治、経済統治、安全保障にとって重要な位置にある。

3) 農業・食文化

**【解答例】**

水資源の関係からチンリン山脈・ホワイ川線を境に北が小麦地帯、南が稲作地帯になり、小麦文化と米文化に分かれる。また、西部地域は宗教上の理由から羊が食される小区分化が成立している。

B 上記A1)～3)の項目に関して、日本と中国で共通する点と異なる点を、その理由を含めて解答せよ。

**【解答例】**

自然環境の共通する点については、中緯度に位置し、山地・高原・丘陵・盆地・平原（平野）といった多様な地形がみられる。また、季節風の影響が気候に与える要因の一つになっていることも共通点である。中国は日本に比べ南北にも広いため、気候帯の幅が広がる。人口に関しては、水が得やすく生活しやすい平野に人口が集中していることが共通点として挙げられる。民族構成に関しては、人種で見ればモンゴロイドという点で共通するが、中国の方がより多くの民族で構成されている。農業については、中国も日本も米と小麦を栽培しているが、食文化という視点でみたときに、日本は中国ほど食文化に明確な境界はない。

C 世界の食料問題、私たちの毎日の食卓、日本の農業はつながっている。このことをふまえて、食と農のグローバル化について、日本や中国においてどのような現象や問題があるか具体的に解答せよ。

**【解答例】**

食料自給率の低い日本は、同じ東アジアに位置し食文化に共通項が多い中国から食料を輸入しているが、2000年代以降、残留農薬問題など食の安全性に関わる問題がしばしば発生した。

◆下記の英文を訳しなさい。

In the Kinki Region, Nara, Ōsaka and Kyōto each became capital of Japan in early times, and they were the heart of Japan's politics and culture. In the Asuka district of central Nara Prefecture, many early Courts, called *miya*, were established, and Asuka became the early heartland of Japanese civilization. In this part of Japan, great imperial tombs were laid out, and the remains of many of these have survived to the present day, an example being the Takamastuzuka Tomb. Tombs such as this one are being carefully preserved, and some of them are being excavated and restored.

In 710, the new capital of Heijōkyō was built in Nara and was modeled on the Tang Dynasty capital of Chang'an. Heijōkyō lay at the center of an administrative system which united the entire country, with the Emperor and the Imperial court at the center, following the Chinese example. In due course, the capital moved to Heiankyō (present day Kyōto), and Nara developed as a temple town, accommodating important buildings such as the Tōdai-ji Temple, the Kōfuku-ji Temple and the Kasuga-taisha Shrine. The area that was occupied by the old capital is now the center of the city of Nara.

出題の意図：比較的身近な地域の英文を読解することは、研究を進める際の基本的技能であり、その到達度を考慮して出題した。

【解答例】

近畿地方における奈良、大阪、京都は各々古代日本において首都であり、日本の政治や文化の核をなしていた。奈良県の明日香地方には宮とよばれた多くの宮廷がつくられ、初期日本文明の中心地を成していた。この時期の日本では巨大な皇室の墓が造営され、これらの多くが現在まで残存したが、高松塚古墳もその1例である。これらの墓は大切に保存され、それらの一部は発掘のうえ修復されてきている。

710年に唐の長安を模して奈良に新都である平城京が造営された。平城京は、中国の例に倣って古代国家を支える統治システムの中核に位置づけられた。やがて首都が平安京(現在の京都)に移ると、奈良は東大寺、興福寺、春日大社のような重要な建造物を擁する寺院都市として発展した。それら旧都地区は現在の奈良市の中心地区となっている。

Discovering JAPAN		定価 本体 1900 円(税別)	
A New Regional Geography		平成 21 年 4 月 1 日 印刷	
		平成 21 年 4 月 5 日 発行	
監修者	伊藤喜栄 中村和郎 金坂清則	編集	帝国書院編集部
著者	金坂清則 宮町良広 関戸明子	発行	株式会社 帝国書院
	松井圭介 荒木一視 小岩直人		〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-29
	天野太郎 土屋 純 梅田克樹	電話	03(3262)0830(販売部) 03(3261)9038(開発部)
	武者忠彦	振替口座	00180-7-67014
英語版監修者	ジョン・サージェント	URL	<a href="http://www.teikokushoin.co.jp/">http://www.teikokushoin.co.jp/</a>
ISBN 978-4-8071-5844-7		Printed in Japan	

出典:pp.80-81

## 【問題】

②次の文章は、2024 年に開催される第 35 回国際地理学会議の案内文章である。この文章を読んで、以下の問い（問 1～6）に答えよ。

### Welcome to the 35th International Geographical Congress

It is my absolute pleasure to invite you to the 35th International Geographical Congress (IGC) which will be held in Ireland in August 2024. My colleagues and I ( ① ) all delighted to have this opportunity to welcome you to Dublin, and Ireland more broadly, and to have this unique opportunity to share the best of global geographic research, share common challenges and opportunities, and connect with colleagues from across the world.

The IGC 2024 will continue the tradition of previous congresses in recognising that our world faces many common natural and societal challenges that can only be dealt with through global action, understanding and sharing. Geography as a discipline, its skills, attributes and the geographic mindset has much to offer other disciplines, policymakers, officials, politicians, and our wider communities. ②今回の会議のテーマは「違いのある世界への賞賛」であり、and we are strongly focused ( ③ ) our academic and fieldwork programme on supporting intercultural awareness and understanding; promoting intellectual diversity as a strength; bringing geographic research and thinking ( ④ ) the congress walls; and grappling ( ⑤ ) the complex interconnections between people, place and the natural world. In an increasingly contested, fragmented and troubled world, celebrating difference as a strength and acknowledging our common humanity is essential.

⑥I invite you to explore the various pages of our website to find out more information on registering, attending and participating. We will be updating it regularly but for the most up to date information and important reminders, please do sign up to our congress newsletter.

For academic/programme queries, please contact us at *chair@igc2024dublin.org* and for registration and administrative enquiries, don't hesitate to contact our congress partners at *registration@igc2024dublin.org*.

On behalf of the Irish geographical community.

Niamh Moore-Cherry (⑦Chair, IGC2024)

【出典：https://igc2024dublin.org/ を一部改変】

## 【出題の意図】

大学院修士課程で地理学を学ぶ上で、幅広い視野を持ち、国際的な論文を読むことにより大学院生の研究が相対化する必要があるため、英文読解・英訳・基本的な単語や熟語の理解力を問う。また、文章が国際地理学会議の案内状であり、こうした情報を手にしたときに、内容が理解できることを期待している。

## 【解答例】

問1 第 35 回国際地理学会議が開催される国名と都市名をカタカナで答えよ。

解答：国名：アイルランド 都市名：ダブリン

問2 ( ① ) に入る be 動詞を、本文に即した形で答えよ。

解答：are

問3 下線部②の部分を英訳せよ。

解答例：The theme of our congress is ‘Celebrating a World of Difference’

問4 ( ③ ) ( ④ ) ( ⑤ ) にはそれぞれ異なる前置詞が入る。それぞれの前置詞を答えよ。

解答：③through、④beyond、⑤with

問5 下線部⑥の文を和訳せよ。

解答：登録、出席、参加に関する詳しい情報については、私たちの Web サイトのさまざまなページをご覧ください。

問6 下線部⑦の単語を、この部分の内容に即して和訳せよ。

解答：議長